



田中光儀

所尋向之條件畧由答

3162



414
A2487

一、手許金之熱末



右、儀在職中、手許金之儀、元久美濃縣
諸、損拾補金之名、儀、極、事、
之、美、元、久、美、濃、縣、
此、方、手、許、金、拾、補、金、之、
以、得、手、許、金、之、順、序、
此、際、官、庫、充、金、之、
以、下、手、許、金、之、
三、方、手、許、金、之、
美、濃、省、長、官、

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

商法損失補正方ホレ依所委任取成り皆以居る所
精々其力可致旨以達至取仕以事一以迄滿二ヶ年
多利是所償附元ホレ拾万金七償由ホレ贏利後取生以共
其煩委法ホレ金金ホレ少以百元ホレ拾万金七以中毎
区納期限前年ホレ一升一申六七月頃区納元計右元金
取生以贏利共調達至其外より取生以贏利之金を
元金并償附元ホレ拾拾補金と中名目以事一以依る所
於ホレ系贏利ホレ多方可取成りて由法所借金立以者以
右取立方為心得不事由一之節ホレ其以ホレ者一而取立振
書狀ホレ元金一為取送留中一七權考る所取立一主

以依る所此儀之付事一海通元大就大至度出通一之入録
之節内宜何意以取立一之於後核移之否取立

一 調達至其終末

右十三拾万八千金余一官金公損及一以取立一以切之僅一
三万金ホレ十分一以取立一引是計ヶ年一以償附拾万金七追而
区納可致依る所右金一取生以贏利ホレ追而取立一以可加分取
此一多金員一可取立一其至急錢券計上可焼拂折柄
其初元金を多々取立一取中一以取立一十七年内一三拾万
八千金余一官金公損を仕理可中目的も多一山下元大屬一

山付の世官損立三拾貳万八千余金の多めを久美彦和
答下者莫大に徳澤を蒙り居付答下重立者其に
官損を可補元金調達方中破れに多少其由金可致と
執銭券引留元金あり折揚元金交答下大に長上
其の徴集右大意一度中少詳細に仰て山下元大層あり
中破れ後進に以由に金額を調達金に賜中より尤大
調達金七十五年後余金致し一可下金多致し一可中送
金初の目的より此金額七減し其可下金厚に方中折揚元
金金可成情金折揚元金余金下金交書取立に付右小
層に書札取揚元金層元成元金其末の了解取金に

一 令部金七百三拾元金二口金金金 其末

右に長田他五市負債金之内由金可致分を致し其處事金
同人困窮に折揚元金向由金可致力多し其長田事件に折
中付用金連買田金印に向為留元金其長田金其居居者
同人各由金可成分を致し其由金其層間金其末右同金
令部金七百三拾元金花教分は其取り致し許可を以て此
多し其折揚元金取分の上教分を取立可成筋に其由中
右に只今に而後元金美彦和諸多損立金三拾貳万八千余金一時
其下金其成り得る右に内が不規則に金額其皆其埋金に
区納其斗方由金其下金其折揚元金委任し始め欠金に其埋

銳意あるより得失種々あり前条の考任は取消し
申達交り給又て海内元大荒大凶年迄内重個々以座の指令
お成り給或て國債密に協徴の上雑糶一掃給る新紀
お成り給て租税を分定或物に於て欠損中分追々取戻し
官金を以將來の年拾補し可お成り給、豫想の考任は
部中に於ては且公金をお成り給、例も右計算了解給る
以得る也、數年前諸金混淆の事一屆の考任は追々
名目を以り、以處分或は何れも公金を名目付可中より并法あり
由仰諸公損の一部分可取ら給、且考任は於今計帳
申渡り給、以應徴の上取調り給、於可中より并法文を願ひ

東京が為習はるる追々多量お成り給て用達以れお成
り得る也了解の以あり可中より

一長田位より他の以入の抵當旧公債考任考任は併多量
長田位より知り申す事多し他の抵當、考入りて同人名は遠
より右挽回可致多し一廿考任は併、考立居り是れ是れ起任考
官金を以先考、商法を以、仕拂官初、以知則、お成り
以分り内年、大荒省、可お納租税を以考立居り多し物、以分り
官金を以考立居り考立居り考立居り、以分り長田
位より追々返納しお成り得る也、以分り追々考立居り、以分り將來

三拾部方公系に在る欠損中、以て如く一々一俵、付て俵一限り
官金を以て在る将来に償ひ給ふ事、後々之書面上より
西了解せしむ、折り給て演説可仕也

一長田化土市に貸付金二口、俵同入自首後大抵おれり代限
揭示中、届出以且一旦拘留せしを解放せしむ、懸未

右に長田化土市に代限揭示届出之を以て大抵府中へ揭示
せし、おれり見多し、知多し、此理を以て、且一旦世間へ拘留
せし、光儀在京留守中、権宗事、在代理中、化土市俵官金
引戻、付て返納手限可致多め、付ておれり、此等、官金、旅費、

此等、俵官金、拘留せし、俵金を以て、其、実蹟、多し、初年、化土市
永々、滞在、在、政、以て、返納、手限、多し、故、以て、此、向、多し、
官損、多し、可、おれり、掛、為、多し、預、り、令、多し、一、区、別、を、立、寄、
被、多し、大、多し、官損、拾、補、名、義、く、別、口、に、金、額、を、方、を、引、戻、せ、
以、得、て、此、向、官、或、し、在、る、以、損、失、を、お、れり、官、金、を、以、
返、納、せ、し、多、許、し、方、政、以、由、事、可、し、方、に、金、額、を、以、
貸、主、に、名、義、を、お、れり、此、中、小、野、強、し、多、し、
以、得、て、官、金、を、以、方、に、以、損、失、を、お、れり、拾、補、金、名、目、に、金、額、を、
以、得、て、方、由、事、可、し、
権限中、に、在、る、以、此、向、官、金、を、以、損、失、を、お、れり、

仙五郎物取為致山内、山内

一 吉田仙五郎は貸下金四万金余に抵當多る諸押知出金を
引戻すに四万金者多し方の疎習多る轉末

右に諸押知に引出金長田に貸下金四万金に抵當と申定ぬ
多る備多し存に長田親税其他年々期限定式可納金數に
外なる内番任金を官金拾補に疎習せし法に引付書面上
引了解め可致し致し極旨口上語中送り可仕也

一 属吏之内大極借多し法

右に光儀留書中吉田仙五郎店瓦解、付取主金取扱に
多め細江貞四郎吉田留備商人に権金事元限り大極借中付
長々お水扱ひ共市而弊害お出り此心付旨細江貞四郎に
免出仕言山留備す物取中連り此権金事度、再出此止
成功為致度後中勧めおし世再出此為し連り後其又
弊害を起し却る吉田の方、泥みり致し心付り此事も取
り多し然免取斗り共在扱中し費用も在るが仕拂
別口拾補贏利より可仕拂名出納課に中連るに似て其他
立花義方も等外吏も取し諸費も取渡り大極、引金
同様の關係し公用為取扱りの属借後為致り後在費を

節的當一以留一冊所用糸之多少旅費亦亦渡りの大極
お禮とせしゆと所存不

一 永田彦一と金方より金利付貸下熱末

右に永田彦一と陽。不中一年、宣武院令之外に官金を以
て金を借ひ追々三拾貳万八千餘に及損を可仕埋り兼仕
中、後、付公債證書を抵當、其由の由が所居並に、於
是亦、少なりお成り、口上、添中、送り、可仕也

一 各課に除金存じ也訣

右に元久美濱外諸名損仕埋方お添り、迄、妙也、旧來、
仕束をお取、其、之、應、少、此、名、目、も、幸、未、之、兼、赴、任、以、來、
お始り、ゆ、法、之、無、之、予、前、之、仕、束、之、他、之、些、少、之、除、金、仕、
取、之、追、而、物、限、り、貯、蓄、之、内、に、可、仕、上、目、的、也、元、其、仕、束、お、取、居、り、
被、之、次、之、之、系、を、も、亦、考、以、了、解、可、仕、第、一、也

一 方針を以て諸債附金を行ひ且て文面抵當規則履行

せざる事

右に元久美濱外、方針債附救助商法新用建築債券
發行、亦、之、損、を、補、可、中、多、め、亦、初、之、以、兼、任、也、元、年、之、

定り多る租税を升之上納金を除き當初に多少償付あり
 因縁にて書留又も新償付等届外此贏利を以て拾部
 八千名余の書留欠損に備へる三万名以下切らぬ維持し
 以て之を以て仍る當初に以て委任の旨に以て達し
 償付を以て連して以て損欠可償目的に爲し以てカシ追
 以て規則を以て立り以て煩雜方法を廢し追て拾部の実効
 未立居る管全々を損欠分以下切らぬ維持し法に以て
 中廢存既にして治六年に於て大龍大至處を巡り突然入

 華子七年三月に於て書留の旨に以て
 及び此期に於て實効を以て

 名依りて金頼りて以て多餘金を以て屬せしむる此内之贏利

追ておぼしめし以て損欠拾部、借却可償目的に爲し以て發
 可中送部中より得る此節、お成りて公私混交り私を
 煩雜遺法に付庚午以前に在りて保形を拂連し以て納
 不足、お成りて却定強弱を以てて予新祥細中、以て
 以て下々可成りて此内以て居るお成り得る答に稠達し以て
 不及中、お成りて府に中送り丹波田井二郡元久美濱、
 御所村、稠達し七千八百九拾六兩九匁に於て残金を以て
 錢券を以て區入急達區に強弱を以てて下方お成りて福多
 切習元久美濱御所村を以て損欠拾部の名依りて取扱人の償金
 以て居りて凡る取消り此中、度段以て同人迄、以て内宜個以て出

三垂少延子後何之指令後多々以當七年其地方存為令同
上京所連之節令編十兩延引ニ成成り留立高心年一以而
在至欠損補ひ方取扱以委任以取り金々不足之由ナ
以下々令可取取心持り并逆致書面与りて可取取之各々以
國債案之先々遂協議以りて存り此所々物知之候林内務
大臣度々督促有し以節也國債案は入知り協議有し
以多取答り得共少届多し物知之方々督促有し以是迄也
素志追々ニ在居候以候以再上京之節々存物知以節

昭八年九月五債案ハ協議ニ可取扱折扱推参事ニ以病案
引中各課之代理為任多り候以取合之付事以物知以候

林内務大臣度々又為連在り物知以節一各程為令議
上京令編有留以國債案ハ遂裁判以上治治六年以末
素志有費多中度折扱令編留出ニ免取作付以
候以て各初在至之損三拾三萬金存候以候以僅之令三万金
以下々切以て拾四万金余之鐵券引上焼拂高法其他之損失亦
追々付控以り金々亦以之尋向し其功亦三先
候以り亦以之始以之委任有制以困難之由斗方引以之候以候
以業知以り以之以前即今之成規を以普通一様之事以引當
亦候以得以頗る以疑團ニ可取生大由右之次第ニ付林業旧弊
候以之各を以得以る次第有し以候以候以今試ニ以之初以之取換令

勉勵を以て帳簿を速く改正せしむる主務之事訓は、
 然し、是の如く、所存九十九年共、良吏之長官上系の上
 官員が撰中、殿執中、其の併共右の如く由る所廢
 以前官員月給を引引是人扱懐し、何れを以て淋夜勤
 以て、以て夜勤不申出り、其の如く抄起り、以て力に此
 不足の事、付於る規則に、通達し、兩改正の如く、
 以て、並打返り、修て、宣旨の推考希有

一 明治五年以前、市町村の應に、外營、陸軍部、定めの都合、事
 且有定費を、皆民費に、治定の缺

右、市町村の都合、事、何れに、應に、或、明治五年以前、主務
 之者、再調査、に、在り、所て、其係、控、不、以、以、後、此、年
 事、に、お、過り、以、例、者、一人、一、已、に、控、不、而、以、之、且、以、考、之、其、七
 所、に、之、以、掛、り、之、者、に、屬、注、意、中、以、之、其、以、例、者、之、其、合
 之、座、心、付、之、其、考、之、其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、合
 皆、民、費、に、お、成、居、に、其、七、官、員、住、居、に、在、り、其、有、定、に、稱、呼
 有、し、以、得、之、其、有、定、に、其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、合
 其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、合
 可、お、多、之、其、民、費、に、其、有、定、に、其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、合
 皆、民、費、に、其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、以、例、者、之、其、合

當該費三分之二右民費以加一方之仕積取調可
中好或于民家借貸之儼也而規則之相あり以之
之々之儼之付民費者取建長より物を以て之員借住
之方之相貸はれぬ相之向追而確定之改以得之
之之可中送部勿之以多一先之改及費時借定之
何定ぬ以之々一之之儼之相之々

右之若若の急キ之付先之概畧中上元之兼濟物之
官金之損三拾貳万八千之如り令三万五千元切のみ之辛未
以来租税于他年之々上納未納の之々之連之仕理未之々

微功十埋没之如初之注注文之度外之相成即今之成親
引當り之由尋問未成り相立之々之如初之損之拾補小
親意有る之忌律を避り疑を懐之瓜田之履を以て之
李下之冠を以て之注意仕りぬ一之若以来通商司
會社或之系相模原あり之為習會社小野田高田等あり
而之色道之友を以て損失之少向之比較仕り得之旧之損之
年之幾月外神の之損未之儼る自外物同和之若何何
之相切注意之區之之々之如初之由あり之基甚之甚仕り儼
之有年之租税于他之若高之有之上納物之外之官金を以て
有年之修之由あり之若以て之隱然微功之由之居之等之若

此累此繁之古山好儀一掃正山一處以地明年也
一昨年也石上行之喬山内多伺さ一少振揮多此繁甚と
避行可中免有願意も其甘不を行うり、打退り有
掃る力持て却り嫌疑を礎一少振揮多此繁甚と
苦重所推察可少山旁而多功却而意外に福むを
是とて此繁之事と幸海に志く一少振揮多此繁甚と
置物有る擔任の條件少尋白く頼り少振揮多此繁甚と
石以在る何れ何れ可中上机多所在以上

明治九年四月

田中光儀

三吉堂岡縣権令殿

